

ウグイスカグラ



ウグイスカグラ（鶯神楽）
スイカズラ科スイカズラ属
こもれびの森で春一番に咲きだす
低木です。名前の由来は、ウグイスの鳴く頃に花が咲く、ウグイスが隠れるような藪になる、など諸説あります。5月頃つく赤い果実は甘く食べられますが、野鳥たちのごちそうでもあります。

3月に見られる花

キクザキイチゲ・モミジイチゴ・タチツボスミレ・クサイチゴ・ニリンソウ・フデリンドウ・ヒトリシズカ・アマナ・オドリコソウ・ムラサキケマンなどなど春の花がめじろおしです。

コブシ



3月に白い花が咲くモクレン科モクレン属のコブシは、2月、冬芽をつけて春の準備をしています。9月に子供の拳に似た形の赤い実を付けますが、この時すでに枝の先に芽をつけています。コブシという名前は、蕾が拳に似ているという説と、果実の形が拳に似ているという説があります。蕾は生薬「辛夷（シンイ）」として漢方処方に使用されています。

